



農業関係者を前にパネルディスカッション



発行所 町 伊方  
愛媛県西宇和郡伊方町湊  
〒796-03 伊方局38-0211  
編集 室 公  
町長 所 豊  
印刷 社 豫  
(株) 八幡浜市松柏 豊 22-0144

### 町民会館で農業シンポ開催

## 今こそビジョンを持った農業を



はじめに、「伊方町地域振興計画における農業振興について」と題して日本総合研究所主任研究員の吉岡正彦氏が基調講演。それに引き続いた、「今こそビジョンを持った農業を」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストとして、町側から販売員の立場で上田広幸氏（町見果樹研究同志会）と中川寛之氏（JA西宇和伊方支店常務理事）が、また、消費者の立場で東京青果の黒沼真寿氏と幡野商事の幡野昭二氏が、学識経験者として山本長松氏（元伊方町長）がパネリストとして参加した。

また、アドバイザーとして中元町長と、基調講演いただいた吉岡氏が出席。熱烈な議論に集まった観客は熱心に聴いていました。この中で、パネリストからは、消費者のニーズに立ちみかん作り、欲しいときに購入できるような栽培販路体制の充実、農業後継者や担い手などの育成、荒廃圃場対策など、いろいろな意見が提議されました。これに対して、アドバイザーになった中元町長は、

「はじめに、『伊方町地域振興計画における農業振興について』と題して日本総合研究所主任研究員の吉岡正彦氏が基調講演。それに引き続いた、『今こそビジョンを持った農業を』をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストとして、町側から販売員の立場で上田広幸氏（町見果樹研究同志会）と中川寛之氏（JA西宇和伊方支店常務理事）が、また、消費者の立場で東京青果の黒沼真寿氏と幡野商事の幡野昭二氏が、学識経験者として山本長松氏（元伊方町長）がパネリストとして参加した。

3月末に完成予定の観光物産センターを誰もが気軽に利用できる、親しみのあるものにする。その愛称を昨年10月から町民の皆さんに広報しながら、その愛称を呼びかけていきました。その結果、愛称に70点の応募がありました。1月21日に選定委員会を開き、その愛称を「きらら館」に決定しました。名付け親の上田照美さん（二見）は、「宇和海に輝く朝日、のんびりとした海、瀬戸内海に沈む夕陽のきらきら、段々畑に映るみかん色のきらきら、さらさら、町の花に制定しているつばき（きき）やぶき（いんじ）を重ね合わせて応募をした」とのこと。また、九町小学校6年の二宮聖志さんが応募した「海望」が次の作品に選ばれました。



1月15日の成人の日、「これからの伊方農業を考える」と題しての農業シンポジウムが開催されました。会場になった町民会館大ホールには、みかん生産農家の方ら約400人が集まりました。

高生産体制農業の確保をめざし、生産基盤の強化や経営規模の拡大、流通販路体制の整備、後継者など担い手の育成を図ると共に、新しい消費地の開拓、さらには、地場産品の開発に努めていくことなどを提案し、シンポジウムを終了しました。

伊方発電所では、これまで、ビジターズハウスの入口付近に設置しているモニタリングステーションと伊方町・保内町・瀬戸町に設置しているPRモニタで、発電所周辺から出る環境放射線の測定データを表示しております。

この度、多くの皆さん方に発電所周辺の環境放射線の状態などを知っていただくために、今までの現地表示に加え、町民会館（愛媛県伊方原子力広報センター入口付近）に表示装置を設置しました。この装置で、だれもが九町越などに設置している環境放射線モニタの測定データを見ることが出来ます。また、伊方1・2・3号機の現在の発電機出力の値なども、37インチのカラー画面にわかりやすく表示されます。町民会館へおこしの際には、是非、ご覧になってください。

人がいて  
●夢がわき  
●流れが変わり  
●新しい町がつくられる

今月の紙面  
二面………テイサービセンターにソーラーシステムを設置  
三面………伊方・町見地区で農業祭 健康とくらし「成人病予防と生活法」  
四面………平成4年度町の台所報告  
五面………税の申告「2月16日～3月15日」  
六面………春の全国火災予防運動

発電所環境放射線モニタの値は  
＝原子力広報センター入口で＝  
この度、多くの皆さん方に発電所周辺の環境放射線の状態などを知っていただくために、今までの現地表示に加え、町民会館（愛媛県伊方原子力広報センター入口付近）に表示装置を設置しました。この装置で、だれもが九町越などに設置している環境放射線モニタの測定データを見ることが出来ます。また、伊方1・2・3号機の現在の発電機出力の値なども、37インチのカラー画面にわかりやすく表示されます。町民会館へおこしの際には、是非、ご覧になってください。



観光物産センターの愛称「きらら館」に決定  
PR活動に使用しようとする観光物産センターの愛称と共に募集していたもので28点の応募がありました。この中から、鳥津節子さん（川水田）が原案構成したマークが選ばれました。「新鮮な魚とみかん」で伊方町をイメージしたということですが、



# 伊方・町見地区で農業祭 JA西宇和に なつて初めて

1月15日に伊方地区、23日には町見地区で、JA西宇和になつて初めての農業祭が開催されました。

この催しは、毎年の恒例行事として行われていたもので、今年で伊方支部は30回目、町見支部は16回目を数えます。

会場には、農家の皆さんが丹精込めて作り上げた温州みかん、いよかん、ネーブルなどといった果実が約150点ほどが並べられ、果実品評コーナーや、農機具などの展示即売コーナー、パズルコーナーなどが設けられ、終日、大勢の出入で賑わっていました。

この他、農協婦人部が設けた手芸品や漬物展示コーナーには、町の花に指定している「つわぶき」や「うり」など漬物が数多く展示されており、お年寄りらは、一つひとつ熱心に試食しながら、色つやや味覚を楽しんでいました。



漬物展示コーナーで、試食を楽しむおばあちゃん。



「意志」の意を込めて、漬物展示コーナー。

## ふるさとウオッチング

取材先 町見 岡村 豊

高左クリについては、もう知るところはありますまいなあ。クリは、明治九年(一八七六)九月八日、喜多郡柳生村沖浦で生まれなはつたが、

八年(一八九五)に北海道の函館女子学校に入学して三ヶ年修業しました。

## 伊方の教育に尽された高左クリ



高左クリは、明治九年(一八七六)九月八日、喜多郡柳生村沖浦で生まれなはつたが、

二年(一八九二)大洲南小学校に入学、同十八年の十二月に高左文吉・ツネの養女になりました。明治二

二年(一八九二)大洲南小学校に入学、同十八年の十二月に高左文吉・ツネの養女になりました。明治二

二年(一八九二)大洲南小学校に入学、同十八年の十二月に高左文吉・ツネの養女になりました。

## 健康とくらし 成人病予防と生活法

健康という言葉の名曲は、「栄養」、「運動」、「休養」の3つのハーモニーから生まれます。しかしながら、どれかひとつでも音が悪くなるとい音は出ません。健康も同じことです。そこで、皆さんの健康を守るためにはどうすればよいのか、成人病予防とその生活法について九町診療所に勤務している戸出二郎医師に話を伺いました。

皆さんが、今後も健康で明るい生活を続けていくための参考にさせていただきたいものです。

「空気の良い町にきてから半年が過ぎました。海もあり、山もあり、皆さんは、このような美しい環境の中で生活できて非常にいいですね」と話す戸出医師。

皆さんは、薬を飲み過ぎないようには、成人病予防のために次の点に注意してほしいということでした。

① 検診を受けよう

高血圧、がん、心臓病、糖尿病などは、早い時期に見つけて適切な処置すれば、命に別状はない時代になりました。

こういふ武人病の早期発見は、今日では検診を除いては果たすことができません。果たすことができません。症状が少なくない、また、病状がかなり進んでいる、今の医学がすすんでいて適切な処置が困難だからです。

町の実施する基本健康診査やがん検診、会社の検診は、必ず受けるようにしたる人間ドックは、成人病の発見にすぐる役立ちます。

② 生活の注意

私は、ここにきて驚いたことがあります。皆さん方のコレステロールの値が、都会の人にくらべて低く、理想的な値を示す人が多いということです。これは皆さんがアジ、イワシ、サバなどの魚をたくさん食べ、野菜も多くとっておられるからだと思えます。肉やバター、卵のような動物性脂肪は、みきつづき少ない方がよいでしょう。

サララオイルなどの植物油はコレステロールを下げるといわれてきました。最近になって、これは疑問であるといわれるようになりまし。あまり多くないようにはしたくないです。

しかし、こうした現実にもかかわらず、ここでは都会と同じように高血圧、心臓病、糖尿病などの成人病が多くみられます。しかも、その一部は、適正な管理とほぼ同じ状態に置かれています。こうした病気の発生は、患者の皆さん自身も、それぞれの病気に必要な正しい生活法の注意を守っていただく以外に防ぎようがありません。

③ 老人の生きがい

若い人口の減少にともなつて、これからは老人の比率は増え続けていきます。その中で一番問題となるのは、ばけ老人の問題です。

軽いはげの場合は、家庭や社会がちょっと支えれば、十分生きがいのある社会生活を継続することができま。われわれは、遠いところ行動に禁止事項を次々と科すというのでは、問題は少しも解決しないのです。家庭や社会がどのように支えていくかということが、これからの課題だと思いま



家庭を覗く一回マから

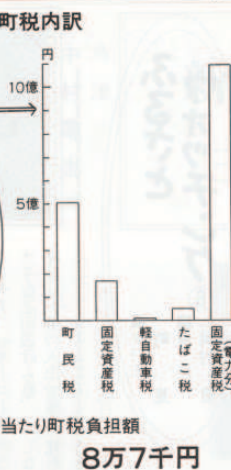
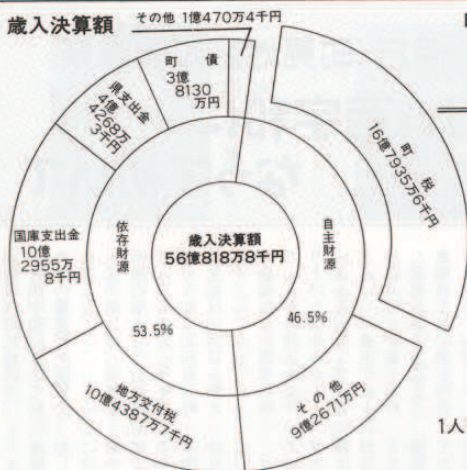
平成4年度町の台所報告

町づくりに使った70億円  
今年も健全財政を堅持

昨年12月に開かれた伊方町議会第155回定例会で平成4年度(平成4年4月から平成5年3月まで)の町の台所、一般会計と特別会計の決算が承認されました。

一般会計決算の概要は

町では、年度当初に予算と比べて、1年間、皆さんから納められる税金をはじめとする収入(歳入)で、お金の使われ(歳出)をあらかじめ計り、町民の皆さんに公表し、行計画に基づいて、いろいろな事業を行っています。会計年度の終了後に、その歳入と歳出を明らかにして、



平成4年度一般会計の決算額は、8億7千万円に上りました。これは、昭和41年度から27年連続の黒字決算となり、健全な財政運営を歩んでいます。このことは、日頃、町民の皆さんの町政に対する深いご理解とご協力があってのことです。

入ったお金(歳入) 入ったお金は、上図のとおりで、総額で、56億818万8千円となっています。そのトップは、町税の16億793万5千円が全体の約3割を占めています。中でも、固定資産税の占める割合が非常に高く、11億590万5千9百円で、町税

町では、年度当初に予算と比べて、1年間、皆さんから納められる税金をはじめとする収入(歳入)で、お金の使われ(歳出)をあらかじめ計り、町民の皆さんに公表し、行計画に基づいて、いろいろな事業を行っています。会計年度の終了後に、その歳入と歳出を明らかにして、

全体の約7割を占めています。次に、地方交付税の10億4387万7千円(18.6パーセント)、国庫支出金の10億2955万8千円(18.3パーセント)、県支出金の4億426万8千円(7.9パーセント)、町税の3億813万3千円(6.8パーセント)の順になっています。中でも、国庫支出金や県支出金の割合は、高齢者福祉センターとして、老人デイサービスセンター、公営住宅建設、義務教育施設の整備により、前年度に比べて大幅に増加しています。

各会計の決算状況

	入ったお金	使ったお金	差引
一般会計	56,818,800,000	55,391,000,000	6,908,800,000
国庫	6,595,370,000	6,147,210,000	448,160,000
県	1,319,170,000	1,318,840,000	330,000
町	5,074,720,000	5,430,130,000	(355,410,000)
老人保健	3,283,790,000	3,256,990,000	26,800,000
給食	810,700,000	0	810,700,000
港湾	103,570,000	103,570,000	0
住宅	1,035,770,000	1,035,770,000	0
水道	1,693,276,000	1,681,640,000	11,636,000
合計	71,700,770,000	70,397,720,000	1,313,250,000



使ったお金(歳出) 使ったお金は、総額で55億3910万円、総額で一番多いのは、九町小学校体育館改築、学校給食センター改築など、義務教育施設の整備などに使った教育費で10億6254万5千円、地区自治基金や町職員給与などに使った総務費で9億5456万1千円です。3番目が農道や漁港施設などの整備に使った農林水産業費で8億6773万2千円、次いで、高齢者福祉対策としてのデイサービスセンターの建設費を含んでいる民生費で7億6770万2千円、土木費、公債費、衛生費などの順になっています。

これを性別にみてみると、投資的経費の普通建設費が48.1パーセントと最も高く、次いで義務的経費の人員費17パーセント、物件費、公債費などの8.5パーセントとなっています。

使ったお金(歳出) 使ったお金は、総額で55億3910万円、総額で一番多いのは、九町小学校体育館改築、学校給食センター改築など、義務教育施設の整備などに使った教育費で10億6254万5千円、地区自治基金や町職員給与などに使った総務費で9億5456万1千円です。3番目が農道や漁港施設などの整備に使った農林水産業費で8億6773万2千円、次いで、高齢者福祉対策としてのデイサービスセンターの建設費を含んでいる民生費で7億6770万2千円、土木費、公債費、衛生費などの順になっています。

- このような事業を行いました
- 地区自治振興対策 5781万円
  - 町政モニター懇談会の開催 15万円
  - 原子力広報センター委託 1366万円
  - デイサービスセンター建設 2億8556万1千円
  - 健康づくりの推進 2266万円
  - 下水道整備 1億683万円
  - 農業資金融資 2774万円
  - 果樹振興対策 2758万円
  - 農道整備 1億4935万円
  - 学校給食センター改築 2億5277万円
  - 災害復旧 1億2877万円
  - 漁港施設整備 2億9429万円
  - 商工業振興補助 1236万円
  - 道路整備 6381万円
  - 公営住宅整備 1億6892万円
  - 伊方港湾改修(湊浦地区等) 3億5422万円
  - 九町小体育館改築 1億4935万円
  - 農道整備(伊方南地区等) 2億3550万円
  - 漁港施設整備 2億9429万円
  - 商工業振興補助 1236万円
  - 道路整備 6381万円
  - 公営住宅整備 1億6892万円
  - 伊方港湾改修(湊浦地区等) 3億5422万円
  - 九町小体育館改築 1億4935万円
  - 学校給食センター改築 2億5277万円
  - 災害復旧 1億2877万円

使ったお金(一般会計・目的別)	歳出総額	議会費	総務費
55億3910万円 1世帯あたり 212万8千円 (世帯数・人口は平成5年3月31日現在) ※ ○は町民1人あたりの額	713,526円	7488万8千円 (1.4%) 9,647円	9億5456万1千円 (17.2%) 122,963円
民生費 7億6770万2千円 (13.9%) ○98,892円	衛生費 2億7845万1千円 (5.0%) ○35,869円	農林水産業費 8億6773万2千円 (15.7%) ○111,778円	商工費 2938万5千円 (0.5%) ○3,785円
消防費 1億1518万3千円 (2.1%) ○14,838円	教育費 10億6254万5千円 (19.2%) ○136,873円	災害復旧費 1億2968万円 (2.3%) ○16,705円	公債費 4億6935万1千円 (8.5%) ○60,460円
			諸支出金 3332万2千円 (0.6%) ○4,292円

この社会、あなたの税がいきっている



税の申告

[申告期間] 2月16日(水)~3月15日(火)

※ 申告は、地区集会所の指定日をご利用ください。

平成6年度 住民税・保険税申告日程表

Table with columns: 月日(曜), 時間, 地区, 場所. It lists the schedule for tax declarations from February 25th to March 14th across various districts like Otsu, Iwakura, and Ohta.

町・県民税や国民健康保険税などの所得申告時期となりました。この所得申告は、皆さんにとって、今年1年間の税金を決める大切なものです。

町では、2月25日から、左表の日程で、各地区の集会所などを巡回して申告相談を行います。

町・県民税

平成5年中の所得の合計額が、扶養控除や基礎控除などの控除額より多いときは、一定の率で税金がかかります。

国民健康保険税

町の国民健康保険に加入している人は、所得がなく、町・県民税の申告義務がない場合でも国民健康保険税の申告が必要となります。

税の申告に必要なもの

- 1. 役場から送付した「申告書」と「印鑑」
2. 営業や農業、その他の事業などの収入がある人は、所得金額の計算できる書類
3. 給与などのある人は「源泉徴収票」
4. 医療費控除を受けようとする人は、「支払った医療費の領収書、保険などで補てんされた金額の明細書」
5. 生命保険料控除を受けようとする人は、「支払保険料の証明書(1契約が9千円を超えるもの)」
6. 損害保険料控除を受けようとする人は、「支払保険料の証明書」

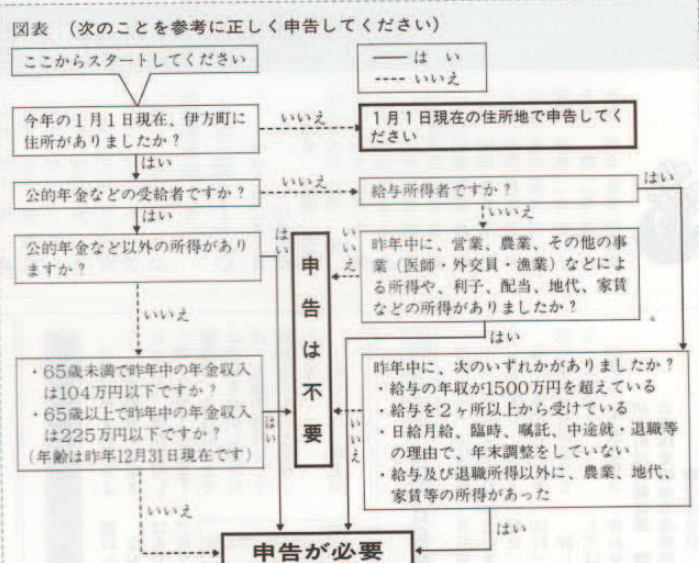
所得税の確定申告

申告は3月15日まで
平成5年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月15日までです。

- 7. 雑控除を受けようとする人は、「被害を受けた住宅家財等の明細書」
8. その他、各種控除に必要な書類など

納税相談所を開設

2月28日と3月1日
八幡浜税務署では、2月28日(月)と3月1日(火)に出張納税相談所を開設します。



注1・所得税を納付する人や還付を受ける人、給与所得者で給与以外の所得の合計額が20万円を超える人は、税務署へ確定申告をしなければなりません。この場合は町・県民税の申告は必要ありません。
注2・所得がなく、町・県民税の申告義務がない人でも、国民健康保険に加入している人は、国民健康保険税の申告が必要です。

口座振替で納税

町では、町税の振替納税利用者に対し、納税報奨金を交付しています。また、口座振替による納税手続きをされたいない方は、振替納税を是非ご利用ください。

振替納税の手続きは、随時、町内の金融機関又は税務課で受け付けています。申告の際にも受け付けさせていただきます。

3月1〜7日 春の全国火災予防運動

防火の輪 つなげて 広げて なくす火事

冬から春先にかけては、空気が乾燥し、強い風が吹きます。また、暖房器具などで、火を使う機会が多いことから、1年中で最も火災が発生しやすい時期です。

1日平均5人 火災の犠牲に

平成4年度は、全国で5万4762件の火災が発生し、1882人が亡くなっています。1日当たり、およそ5人が火災の犠牲になっていることになります。

火の用心 7つのポイント

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
2. 子どもには、マッチやライターで遊ばせない
3. 風の強いときは、たき火をしない
4. てんぷらを揚げるときは、その場を離れない
5. 家の周りに燃えやすいものを置かない
6. 風呂の空だきをしない
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない



みんなで話し合う機会を設けることも大切なことです。

町内の交通事故

(2月1日現在)

発生件数.....6件  
負傷者数.....1人

新しい年の始まりに、皆さんは、思い通りに、それぞれ今年1年間の目標を立てたことと思います。

皆さんは、「交通事故を起こさない」ように、また、「交通事故に遭わない」ように、お互いが譲り合う精神を持って交通ルールを守ることを今年の目標の中にいれていますか？

まだの方、これからの目標の中に付け加えて、交通事故防止に努めましょう。

伊方・町見駐在所

君がサザエ



奥にお住まいの辻成さんより、先頃なくなられましたご母さまのご逝去に伴う香典返しとして5万円  
保内町にお住まいの大本一朗さんからご尊父様のご逝去

北九州市八幡東区大宮町1-7にお住まいの山下谷さん(西出身)から1万円  
大阪市住吉区长居西1丁目11-18にお住まいの石橋久三郎さん(小中浦出身)から3万円

歳時記 さざえ

国民栄誉賞を受賞した漫画家・長谷川町子さんの代表作「サザエさん」は、主役のサザエさんの親しみやすい雰囲気が人気です。サザエは巻き貝の一種で、北海道の南部から九州まで、日本のほとんどの地域で採れるので、昔から庶民に親しまれています。貝殻がゲンコツに似た形をしているのも、愛きょうがあります。

サザエは、春から初夏にかけて旬で、春の季語です。ハマグリとともに、3月の桃の節句の供え物として使う地方も多いようです。サザエは、巻き貝の殻に角(管状の突起物)が出ているのが普通です。しかし、内湾では、角のない角なしサザエと呼ばれる種類もあります。この角なしサザエは、波が静かな場所では沖へ流される心配がないので、突起物も必要ではなく、このような形をしているといわれています。

また、場所によっては、「これは日連上人が、漁師がサザエで足をけがしたのを見て、角をなくしてしまったのだ。という伝説が残っているところもあります。サザエの料理の代表は、何といてもつば焼きです。ほかには刺し身や酢の物、和え物や煮物、かす漬や塩辛などがあります。漁村の民宿などで食べたいのこもった手作りのサザエ料理は、忘れられぬ。毎年3月10日の機園の機園の日は、「農山漁村食卓を村合し」として5万円  
保内町にお住まいの大本一朗さんからご尊父様のご逝去

大阪府西京町2-3-6にお住まいの中川博夫さん(大浜出身)から1万円  
それそれ、広報編集費用にと寄付いただきまして、紙上から厚くお礼申し上げます。

12月号4面で紹介いたしました国民年金知事表彰の紹介記事欄で、田中ツマ子さんが田中ツル子さんになっていました。紙上からおわびして訂正いたします。

人の動き

人口 7,723人 (男3,744人(-14人) (-24人) 女3,979人(-10人))

えんむすび

平成5年12月1日  
12月31日  
氏名 本籍地

おくやみ

平成5年12月1日  
12月31日  
死亡者 年齢 住所

大工・左官さんの日給 1万4000円に据置

伊方町建築組合では、1月4日に河内公民館で総会(大御講)を開きました。その席上、景気低迷などのおりから、平成6年度の大工、左官、板金工さんの日給を前年度と同額の1万4000円に据え置くことに決定いたしました。

郵便料金改定のご案内

平成6年1月24日より、郵便料金が改定されました。現在使用して頂いております切手、葉書は、3月31日まで差額をお出し頂ければ、交換手数料なしで新料金のもとと交換いただけます。

種別	改定前	改定後
葉書	41円	50円
定形	62円	80円
		90円

窓口へお尋ねください。なお、小包料金の変更はありませんので、従来どおりご利用ください。

くわしくは、郵便局

陸海空 自衛官募集のご案内

防衛庁では、2年陸海空士として、陸海空自衛官を募集しています。募集の締切日は、平成6年3月31日までです。試験は、平成6年3月合おってください。

伊方町役場総務課 38-0211  
自衛隊愛媛地方連絡部 0899-41-8381



よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

—ふれあい—

いかた

教育だより

〔発行〕  
伊方町教育委員会  
〔編集〕  
社会教育課  
〔印刷〕  
豊 豫 社



伊方町成人式 20歳の旅立ち

成人式で 大人への門出祝う

《93名が新成人》

新成人を招き、社会人として輝かしい前途を祝福しようと、一月十五日の成人の日(中央公民館)にて「伊方町成人式」が開催されました。本町での新成人該当者は、昨年より九名減の九十三名(帰省者二十一名を含む)で男性四十四名、女性四十九名が晴れて大人の仲間入りをしました。

この日は、午前十時より式典が行われ、九十三名の該当者のうち、六十三名(男性二十八名、女性三十五名)が出席。主催者のあいさつに立った中元町長は、「二十歳は、社会人としての権利を受けた、大きな人生の節目です。本町の社会人とは権利と義務だけでは成り立ちません。責任というものを自覚して、この激動する社会の中で頑張ってください」とあいさつ。続いてご来賓の方々より、祝福や励ましの祝辞を頂きました。

これに対し、新成人を代表して米澤彦光君(仁田之浜)が、「本日、とまどいながらも成人式を迎えましたが、真の社会人としての自覚や誰からも信頼される人間になるよう努力したい」と力強く謝辞を述べました。



式典では、やや緊張きみの新成人者

記念行事では、「新成人の主張」と題し、飛田善広君(湊浦)、堀内多恵さん(大浜)、中村竜也君(鳥津)、井上志宝さん(田之浦)ら四名が社会人、学生のそれぞれの立場で、これからの目標や決意を堂々と発表しました。



青年団歓迎会ではゲームを楽しむ

PTA活動の 活性化を目指して 第38回町PTA研究大会開かれる



分科会で熱心討議するPTA会員

「ふるさとを知り、ふるさとを大切に育てる子供を育てるPTA活動の在り方」について研修を深めようと、一月二十三日、中央公民館において「町PTA研究大会」が開催されました。

この日は、PTA会員、教職員、関係者など三百余名が出席。開会行事の後、九分科会に分れて、各単位Pでの日頃の実践や成果、問題点などについて発表し合い、PTA活動の一層の充実、発展を目指して熱心に討議が行われました。

午後からは、四国総合教育研究所長の横川遊亀寿先生を講師に招き、「子供たちは今、親と教師が変わるとき」と題して講演が行われました。

横川先生は、今の子供たちの特徴として、①やる気がない(燃えない)、②体験が少ない、③言葉が少ない、④子供時代(遊び)がない、⑤すぐにもり現象、の五項目をあげ、その現象と対応策について、先生の実践例を通して、分かりやすく、ユーモアを交じえた話しに参加者は熱心に聞き入っていました。

自らを高め、人と人を結ぶ生涯学習

- 自ら学習し生きがいを求める 一人一学習
- 心のふれあいを育成する 一人一活動
- 健康や体力の増進を図る 一人一スポーツ

〈伊方町生涯学習推進目標〉

毎月第2日曜日は「家庭の日」です

3月のテーマ 「努力をたたえ合おう」

〔実践方法〕 ○学校生活、家庭生活、社会生活などの成果について話し合い、家庭それぞれの努力をたたえ合おう。

# 新成人の 主張

田之浦  
井上志宝さん



二年前、高校を卒業して、今、パスガイドをしています。「町見、伊方中学校卒業生の皆さん、おはようございます。本日のコースは……」

の滋賀県での生活は、とても不安でした。でも、たくさんの友達と仕事のパートナーと楽しく仕事をしています。でも、毎日が楽しい、いかなのが現状です。中でも、お酒に酔ったお客様、言うことを聞かない子供たち、また旅行先は西に東にさまざまです。今では、学生当時以上に接客

の仕方、言葉づかいなど、勉強をしています。これからは、成人として、社会に出て恥じないマナーを身につけ、今度以上に頑張りたいです。そして、夢は仕事で伊方町まで来て、堂々と胸張ってふるさとを案内したいこと。今までお世話になった両親に少しづつでも恩返しをして行きたいです。

鳥津  
中村竜也君



私達は二十歳を節目に一人の大人として社会的に認められお酒、たばこ、婚姻等に関して自由になります。そして、何かにつけて権利というものが出来てきます。その反面、義務あるいは責任がついてきます。例えば、税金、年金保険料や社会保険料を支払う義務が

あろうかと思えます。私も役場の税務課へ配属されているせいと痛感致しております。私は、高校卒業後、地元就職した訳ですが、皆さんのふるさとである、この緑の山と青い海に囲まれた自然豊かな伊方町に住み、役場職員として、また、青年団の一員として、伊方町の良さをもちと

もついろいろな人に見ていただき、だれでも心地よく住め、都会に行かれない方も、帰ってみたいと思われような町づくりに関わっていきたくです。最後に、この成人式を支えて戴いた方々に感謝をし、今後更なるご指導をお願いいたします。

湊  
飛田善広君



私は、昨年の十月七日に二十歳になりましたが、親の声をかじっている学生です。二十歳になった実感はありませんでしたが、しかし、今日、成人式に出席して、友達に合ったり、ご来賓の方々のご祝辞を賜わっているうちに自分も二十歳になっているの仲間入りをしたのだと、言うことを少しづつですが実感して参りました。私は、今、学生ですが、卒業後は、出来れば、教職につきたいと思っております。その為には、やらなければいけないことが山ほどあります。それらを成し遂げ、教師になることが出来たとき、その時が一人前の大人になることだと考えます。最後に、両親やまわりの方への感謝の気持ちを忘れずに立派な大人になれるよう、これからは頑張っていきたいと思っております。

大浜  
堀内多恵さん



今日まで二十年間、私はこの伊方町で過ごしてきました。この間、両親、学校の先生身の回りの色々な方々のおかげで、ここまで育つことが出来たことを感謝しています。高校卒業後、地元の農協に就職してからの一年半を振り返ってみると、仕事では、失敗やら勘違いの繰り返しで、上司・先輩の方々に迷惑を掛けているように思っています。

この二十歳を機会に私は、「自分の行動に責任を持つ」を目標に実践していきたいと思っております。何気なく処理していた仕事も、気を付けていけばミスも少なくて済みます。自分の処理した仕事は責任を持つつもりで、仕事だけでなく何事も同じ気持ちでなければいけないと思っております。皆さんも同じ二十歳です。私と同じように働いてい

る人、学生の人など、それぞれ自分のおかれている立場は違いますが、この成人の日には何か大人になる目標を探してみたいです。一生に一度の日です。何も変わらないのではなく、前へ向かって前進し、進歩できるようにしたいと思っております。どうか今後とも温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 大志を抱け!

## 伊方中・町見中で少年式



少年式を迎える伊中2年生

二月四日の「少年の日」には、伊方・町見両中学校において「少年式」の式典が催され、中学二年生九十二名(伊方中五十七名、町見中三十五名)が「自覚」、「立志」、「健康」の目標を立て、大人への第一歩を踏み出しました。伊方中学校体育館の会場には、壁に紅白の幕、一方には二年生一人一人の自画像、将来像を描いた絵が飾られており少年式の雰囲気を感じ上げていました。式典では、校長、来賓のあ

いさつや生徒代表の激励の言葉に答えるかのように、二年生各自が「自分に厳しく」、「強い心を持つ」などと、誓いの言葉を述べていました。式典後は、「伊方中先輩の話」と題して、宇都宮史さん(中浦出身)・南海放送アナウンサー)を招き、学生時代や仕事等の話がありました。宇都宮さんは、「中学、高校の六年間、卓球部で運動を続けた自信が今では役立っている。中学生らしく、女らしくと云われると抵抗があるが、

いさつや生徒代表の激励の言葉に答えるかのように、二年生各自が「自分に厳しく」、「強い心を持つ」などと、誓いの言葉を述べていました。式典後は、「伊方中先輩の話」と題して、宇都宮史さん(中浦出身)・南海放送アナウンサー)を招き、学生時代や仕事等の話がありました。宇都宮さんは、「中学、高校の六年間、卓球部で運動を続けた自信が今では役立っている。中学生らしく、女らしくと云われると抵抗があるが、



学生時代の話を語る宇都宮さん

# 句の友の 序列なき顔 初句会

## 新春俳句大会



熱心に俳句の互選をする参加者

一月十七日、中央公民館にて、「第六回新春俳句大会」(主催:町俳句連合会)が行われ、町内の俳句趣向者三十余名が参加し、互いの学習成果の発表が行われました。開会行事後、さつき互選会が行われ、約百句の投句の中から次の方々が入選されました。  
〔互選入賞者〕  
・岩見愛子・田中初子・藤川勝子・城岡さかえ・藤井美千代・阿部嘉明  
〔選者による入選者〕  
・岩井ふみえ・樫尾久恵・藤川勝子・梶谷芳久・岩見愛子

# 起源のナゾ 還暦祝いのいわれ

36

六十一歳(満六十歳)のことを「還暦」といいます。生まれた日に還るといって意味で、生年月日の干支が六十一歳で再び出発点に還るといって、めでたい祝いです。同じ意味で「本封還り」ともいいます。本封は易で算木を二回おいて判断するとき、最初の



起源のナゾより  
光文書院

封のことをいい、転じて物のはじまりの意。また、「華」の字を分解すると、六つの十と一になり、それに干支の第一番目の甲子の甲をつけて「華甲」ともいいます。このように満六十歳の祝いの年数(六十の賀)でなく別名にしたのは、江戸時代の中ころにはじまるもので、同時にこれは、戦国時代ころから絶えていた長寿の祝いの復活でもあった。

# 奥チーム(一部)が4年連続優勝

## 2部は町見中野球部(男子)卓球部(女子)に栄冠

### 第24回 町内駅伝大会



一部優勝の奥チーム



二部男子優勝の町見中野球部



二部女子優勝の町見中卓球部



一斉にスタートする第一走者

二月十一日、第二十四回町内駅伝大会が行われ、十九、五kmを十区間(二部男子五区間、同女子七区間)を一部、二部合わせて三十二チーム、二三四名の選手が健脚を競いました。

午前十時に田之浦集会所前を菊池真教育委員長の号砲で一斉にスタート。レースは、昨年二位で雪辱に燃える湊浦チームが三区より単独トップを保ち、そのままゴールかつと思われたが、最終区にエース

を配した奥チームが逆転し、見事に四年連続六回目の優勝を飾りました。

二部では、男女共に町見中の野球部(五年連続五回目)と卓球部(二年連続二回目)がそれぞれ優勝を果たしました。今大会は、二見小の男女混成チームでのオープン参加や二部出場の伊中教職員の手の中にも、郡内中学校の英語教師ポールマイヤーさんが出場するなど大会を盛り上げていました。

一月三十日には、伊方・町見体育振興協会主催のマラソン大会が行われ、子供から一般成人まで約八百人が参加し寒さを吹き飛ばすような、さわやかな汗を流していました。

両会場では、伊方中学校、町見体育館を起点に体力に応じて走れるような各コースが設けられており、短いコースには親子連れで走る長い列ができ、手を引いて走る親子や中には子を背負って走る人など様々で、走りながら親子のふれあいを楽しんでいます。



伊方会場



町見会場

## マラソン大会で 体力・健康づくり

部	氏名	チーム名	記録
一部	仁元 隆之	湊中	9.41
一部	良一 隆之	湊中	3.31
一部	澤 脇 隆之	湊中	5.05
一部	大宮 裕之	湊中	7.07
一部	竹 田 隆之	湊中	5.29
一部	池 田 隆之	湊中	3.59
一部	佐 佐 隆之	湊中	3.10
一部	渡 辺 隆之	湊中	5.53
一部	井 上 隆之	湊中	7.09
一部	上 野 隆之	湊中	10.12
二部男子	志 郎 隆之	湊中	14.16
二部男子	上 野 隆之	湊中	13.32
二部男子	上 野 隆之	湊中	13.01
二部男子	上 野 隆之	湊中	15.02
二部男子	上 野 隆之	湊中	11.15
二部女子	上 野 隆之	湊中	10.39
二部女子	上 野 隆之	湊中	9.33
二部女子	上 野 隆之	湊中	10.12
二部女子	上 野 隆之	湊中	11.26
二部女子	上 野 隆之	湊中	8.53
二部女子	上 野 隆之	湊中	12.07



ゴールする奥チーム

部	順位	チーム名	記録	総合順位
一部	1	奥	1.5.23	1
一部	2	湊	1.5.58	2
一部	3	有 仁	1.9.32	5
一部	4	田 之	1.10.58	8
一部	5	知 之	1.12.11	9
一部	6	中 大 河 川	1.12.15	10
一部	7	湊 浦 来	1.12.35	11
一部	8	永 之	1.12.41	13
一部	9	豊 須	1.12.59	14
一部	10	須 賀	1.16.11	18
一部	11	須 賀	1.19.16	25
二部男子	1	町 見 中	1.7.58	3
二部男子	2	伊 中	1.9.29	4
二部男子	3	伊 中	1.9.47	6
二部男子	4	伊 中	1.10.27	7
二部男子	5	伊 中	1.12.38	12
二部男子	6	伊 中	1.14.20	15
二部男子	7	伊 中	1.15.06	16
二部男子	8	伊 中	1.15.40	17
二部男子	9	伊 中	1.16.45	19
二部男子	10	伊 中	1.17.26	22
二部男子	11	伊 中	1.17.45	23
二部男子	12	伊 中	1.25.50	29
二部男子	13	伊 中	1.26.18	30
二部女子	1	町 見 中	1.16.53	20
二部女子	2	伊 中	1.17.03	21
二部女子	3	伊 中	1.18.02	24
二部女子	4	伊 中	1.21.51	26
二部女子	5	伊 中	1.23.15	27
二部女子	6	伊 中	1.23.39	28
二部女子	7	伊 中	1.27.38	31

- 子等去んで跡に残るはゴミの山
- へそくりのがま口が開くお年玉
- こむバスも病院前で席が空き
- 一病とつきあいながら長く生き
- 捨てみかん汀で波と遊ぶる
- 児の描くいかたこ鯨が宙を飛ぶ
- お年玉受けとる子等の患比須顔
- 温み恋ふ亡夫のセーター重ね着て
- 袴着け困った顔の七五三
- 孫あやす爺にヒョットコ面も負け
- 百八つ日本浄むるこれでもか

- ### 川柳クラブ
- 農薬の害なき山の蓬摘む
  - 寒行者吾が家に憩い祈禱せる
  - 霜の朝一直線に飛行雲
  - しゅっしゅっと寒気切り裂く居合剣
  - 新風呂のかまどに焼きし諸君ふ
  - 寒釣の竿立てかけて人は居ず
  - 犬小屋の残飯漁る寒雀
  - 陳列の雛は個々に顔違ふ
  - マラソンの子を送り出す着膨れて
  - ピラカンサ食みつくしゐる鶉の声
  - 桜木の木肌うつくし春を待つ
  - 落人の浦に赤々数株
  - 陽溜りの猫みじろがず日脚伸ぶ
  - 日向はこ老母と猫は背を丸め
  - 風船をとばす小さき手を伸ばし
  - 紅梅の一足速き社前かな
  - 春立てり枝張る二代目一里松

- ### 俳句クラブ
- 政木滝義
  - 明神義弘
  - 木戸五雄
  - 阿部嘉明
  - 桜谷たつき
  - 井上まさ
  - 篠川勝子
  - 稲月しげ子
  - 菊池ましえ
  - 阿部はなえ
  - 矢野さよ子
  - 門田千枝
  - 上田益男
  - 松坂正子
  - 木戸悦子
  - 池田はつ
  - 梶谷芳久
  - 篠川佳津子
  - 山口彦弘
  - 上野進
  - 池田極
  - 桜谷たつき
  - 稲月しげ子
  - 菊池真志江
  - 井上まさ
  - 矢野さよ子
  - 中野みち子
  - 梶谷芳泉



'94.3月

# くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
㊤	4	5	6	7	8	9
㊦	11	12	13	14	15	16
㊧	18	19	20	21	22	23
㊨	25	26	27	28	㊩	30

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
3月 1(火)	○所得税納税相談(町民会館 9:00~16:00)	17(木)	
2(水)	■健康相談(河内公民館 10:00~14:30) ○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00) ※弁護士さんが相談に応じます。	18(金)	■なかよし広場・リトミック合同(保健センター 10:00~11:00) ■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00) ○給食サービス(町見地区) ★不用犬回収日(役場・町見支所で受付)
3(木)	○福祉ボランティア研修会(町民会館 13:00~15:30)	19(土)	
4(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:00) ■健康相談(須賀集会所 13:00~15:00)	20(日)	
5(土)		21(月)	春分の日
6(日)	○消防出初式(9:00~)	22(火)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:30~12:00)
7(月)	■家族会家庭教室(保健センター 10:00~15:00)	23(水)	
8(火)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:30~12:00) ■1才6ヶ月児健診(保健センター 13:00~14:00)	24(木)	■九町リハビリ教室(ワーク伊方 13:00~15:00) ○税の徴収(向公民館 9:00~12:00)
9(水)	■家庭看護教室(川永田コミュニティセンター 13:00~15:00)	25(金)	○給食サービス(伊方地区) ○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:00)
10(木)	■栄養学級終了(町民会館 9:30~14:30) ■健康相談(豊之浦集会所 10:00~11:30)	26(土)	
11(金)	■健康相談(西・久保集会所 9:30~13:00) ■リハビリ訪問(13:00~15:00)	27(日)	
12(土)	■中之浜健康まつり(9:30~13:30)	28(月)	○税の徴収(大成老人憩の家 9:30~12:00) (鳥津公民館 13:00~15:00)
13(日)		29(火)	○税の徴収(二見公民館 9:30~12:00) (田之浦集会所 13:00~15:00)
14(月)	■健康相談(向集会所 13:30~15:00)	30(水)	○国民健康保険証の更新
15(火)	■オレンジ会(オレンジハウス 9:30~15:00) ○人権相談(町見公民館 10:00~15:00) ○所得税確定申告期限	31(木)	○国民健康保険証の更新
16(水)	■健康相談(奥集会所 9:30~14:00) ○心配ごと相談・行政相談(町見公民館 13:00~17:00)	4月 1(金)	



## リトミック教室に参加してみませんか~



寒い時期には、子供達も身体全体を使って遊ぶ事が少なくなりがちです。こんな時こそ、親子で音楽にあわせて楽しく動いてみませんか。

右記の日程でリトミック教室を開催します。参加を希望される方は、3月10日(木)までに保健センターまでご連絡下さい。



(☎38-1811・38-0211)

~~~~~ 記 ~~~~~

1. 日 時 平成6年3月18日(金)  
10:00~11:00
2. 場 所 伊方町保健センター
3. 対 象 2~4才頃の乳幼児をもつ親子
4. 内 容 リトミック (リズムあそび)  
[講 師] リトミック協会
5. そ の 他 親子とも動きやすい服装でおいで下さい。

~~~~~